

出前授業・模擬選挙
地方公共団体主体
小学生等

模擬議会・議員との交流
若者議会・こども議会
高校生

大学・若者グループ等との交流
【参考】 学校・民間団体が主体の取組
大学生・短大生・高専生

⑪和歌山県 (人口924,469人) ※令和5年1月1日現在

租税教室とのコラボ講座による実施機会の拡大

■取組の概要

- 県主体の選挙出前講座において、平成30年度から税務署との連携による出前講座・模擬選挙を小学校等で実施。



実施概要

実施年度	平成30年度から毎年度実施（※令和3年度は新型コロナの影響で未実施。）
対象者	希望のあった小学校～高校・高等専門学校
参加者数	1,300名程度（11校、令和5年度）
事業規模（予算）	なし（単独実施の場合と同様、模擬選挙用の投票用紙の印刷費が必要）

■実施の経緯

<取組を開始するに至った経緯>

- 平成20年度から県政各分野についてのこども版出前講座が開始され、選管も平成23年度から小学校6年生向けに出前講座を実施。その後、平成27年度からは中学校・高校等も対象に追加していたが、他分野の出前講座の機会拡大等もあってか、近年は選挙出前講座の実施を希望する学校が減少していた。
- 年間の授業時間が限られる学校にとって、より魅力的な出前講座としたいと問題意識を持っていた中で、租税教室を実施する税務署側からコラボ講座の相談があった。

■実施の体制

<庁内の実施体制>

- 啓発担当が1人（実施校の所在地を管轄する事務局の分局職員も対応）。講座当日は県から1～2名が参加。

<外部との連携体制>

- 基本的に、実施校が所在する市町村選管に1～2名の参加を依頼。
- 県内の税務署（窓口：和歌山税務署税務広報広聴官）。

■取組の効果・成果

- 税務署と連携することで、授業時間が限られていたため選管単独で実施できていなかった学校でも出前講座が実施できるようになり、税の使い道等を通じて選挙に関する理解が深まっている。
- アンケートの結果では、「今後投票に行く」という肯定的な回答が9割程度で、選挙に行くことに不安がなくなったというコメントも得られている。



<これから取組を始める団体へのメッセージ>

選挙は児童・生徒から見れば敷居が高いものだろう。税やSDGs、環境問題等の身近でわかりやすいところを突破口にして、少しでも選挙を身近に感じてもらう、選挙はそれほど難しいものではないと感じてもらえるような工夫が有効ではないか。低投票率は全国的な課題なので、一緒に頑張っていきたい！

★より詳しい情報はこちらへ

【和歌山県 選挙出前講座の案内】

https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010600/wsenkan/ohanashi/ohanashikouza_senkyo.html



取組のステップとポイント

① 事前準備

【実施1～2か月前まで】学校から申し込み

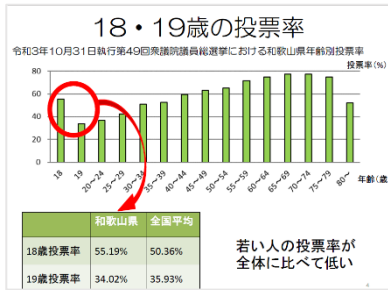
- ・出前講座の申込は随時受付。
- ・実施希望があった学校に対し税務署とのコラボ講座の実施希望について確認の上、3者で日程調整。
- ・税務署からコラボ講座を提案されることもある。

【実施1～2か月前頃】学校・税務署との調整

- ・選挙と税の説明部分の時間配分、候補者役等の役割分担、実施会場及び実施内容について、学校・税務署と調整。

【ポイント】

- ・学校との調整に際しては、選管側で調整を進める場合が多い。これは、模擬選挙の進め方や資料の配置等の調整事項が選管側に多いため大変さはあまりない。
- ・学校から税務署への租税教室の申込時においても、選管とのコラボ講座の希望を確認する項目を設けている。
- ・連携開始当初は、税と選挙との関係について十分触れられているか等の観点から説明内容等を点検していた。



小学生用資料

第3問 投票所に朝一番乗りの特典は？

- A 一番乗り証明書もらえる
- B 投票箱の中を見ることが出来る
- C お茶菓子をもらえる

2. どうやって投票するの？

和歌山県
Wakayama Prefecture

Q.3月1日にA市に転居しました。
4月10日にA市の市長選挙がある場合、投票できるでしょうか。

① できる

② できない

25

中学生用資料

② 取組実施

- ・当日は講座の30分～1時間前に学校に到着し、記載台等を設置。

<当日の流れ>

講座時間は全体で50～100分程度。

1. 税に関する講座 (10～20分程度)
 - 選挙講座 (10～20分程度)
2. 模擬選挙・開票 (30～50分)
 - 事前に教員に模擬選挙の候補者役を依頼、受講生に選挙公報を配付の上、演説・模擬選挙を実施。
 - また、受講生数名の協力を得て開票作業を実施。
3. 質問・まとめ (10分程度)
 - 受講生からの質問、まとめのメッセージ。



模擬選挙 (投票) の様子

模擬選挙

学校に新しい施設を建設するならば??

本日のまとめ

選挙はなぜ大切なの？

- ・選挙は政治に参加する手段。
- ・政治に私たちの意見を反映してくれる代表者を選ぶ必要があるため。

投票の仕方は難しくない!

- ・投票に行けない場合は、期日前投票・不在者投票を活用

どのような社会になればいいか考えてみよう!

- ・選挙をきっかけにどんな社会になってほしいか考えてみる。

選挙講座の資料

【ポイント】

- ・講座時間が限られている場合、県が作成しているベースとなる資料から講座時間に応じて加除している。その際、クイズは理解促進のため (時間が限られていても) 実施している場合が多い。
- ・また内容・クイズは小学生用と中学生用で内容を変えている。
- ・選挙と税の関係を理解できるように、選挙結果により税金の使い方が変わる等、税との関連部分を強調している。
- ・今後の展開としては、「講義をして模擬選挙をする」というパターン以外 (例えば、総合学習等を通じ身近な社会課題に関するグループワークと選挙講座を連携する) も模索していきたい。

③ 実施後

- ・受講生向けにアンケートを実施。
- ・また教員にもアンケートを実施し、出前講座を知ったきっかけ、今回の講座の満足度、改善点等を把握している。
- ・実施した内容について、学校の許可を得て選管のSNSで情報発信している。

【ポイント】

- ・「選挙自体にどれくらい税金が使われているのか知りたい」といったアンケート回答もあった。
- ・広報ではSNS (X) を利用しており、その際には写真を載せるように意識している。